物流ニッポン 2021.05.04付

東ト協＆都環境局
輸送評価制度を説明

「車両のCO2排出量抑制は今後強化される」と渡辺課長

【東京】東京都トラック協会（浅井隆会長）と東京都環境局は4月19日、東ト協のグリーン・エコプロジェクト（GEP）と都貨物輸送評価制度の説明会を開催した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、東京都トラック総合会館（東京都新宿区）での説明者の取り組みの模様をオンライン併用で視聴できるようにした。

都環境局環境改善部自動車環境課の渡辺昇課長は「車両からの二酸化炭素（CO2）排出量の抑制は今後、今までより強化される流れにある。我々の評価制度は、東ト協のGEPからつながる。新型コロナウイルス保全の取り組みが経営改善にまで連動する素晴らしい仕組みだ」と述べ、各事業者の取り組みへの感謝を示した。

評価制度の概要について説明した後、申請手続きの詳細を解説。事務局からは「評価の取得事業者と、（グリーン経営など）第三者機関による認証未取得の事業者のCO2排出量を比較すると、約20%の差がある」と説明し、1社でも多くの認証取得を呼び掛けた。

その後、GEPの概要や参加方法について説明した。

（佐々木健）